

4 男女共同参画の推進に係る主な取組・関連事業

【平成24年度実施状況】 ※平成25年度新規事業については実施計画

≪基本目標Ⅰ≫ 政策・方針決定過程への女性の参画拡大

【重点目標1】 政策・方針決定過程への女性の参画促進

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|--|---|-------|-------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| 審議会等委員への女性登用の促進 | 全審議会における女性委員比率40%以上を目標とし、積極的な女性人材の登用に取り組んだ。 | — | — | 関係部局 |
| 女性職員の積極的登用促進 | 人事異動の方針として、女性職員の管理職への登用や職域の拡大等に取り組んだ。 | — | — | 人事課 |
| 女性人材バンク整備事業 | 県や市町村の審議会等における女性委員の登用を進めるため、女性人材情報を収集・管理し、情報提供を行った。 登録者数 315名 (うち公表同意者309名) | 125 | 125 | 青少年・男女共同参画課 |
| 【H25新規】 女性の活躍応援事業 (女性の活躍の「見える化」) | 女性の活躍の「見える化」調査を実施し、その結果を踏まえて、女性の活躍に関する課題・メリット等を「女性の活躍推進委員会」において検討を行う。 | — | 3,203 | 青少年・男女共同参画課 |
| ボランティアリーダー活動支援事業 | 地域でボランティアリーダーとして普及啓発活動に取り組む県の男女共同参画推進員を対象に研修会を開催した。 ・全体研修会の開催 (1回) 8月10日 (金) アピオあおもり (青森市) ・地区研修会の開催 (5回) (西北地区) 10月7日 (日) である・そーれ (五所川原市) 他 (上北地区) 10月8日 (月・祝) 十和田市民文化センター (十和田市) (東青地区) 11月4日 (日) アピオあおもり (青森市) (中南地区) 11月18日 (日) 弘前市総合学習センター (弘前市) (下北地区) 1月31日 (木) むつ市役所会議室 (むつ市) ※指定管理者「ASTAC・G」への委託事業 | 502 | 事業終了 | 青少年・男女共同参画課 |

【重点目標2】 女性の人材育成と能力開発(エンパワーメント)支援

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|---|---|-------|-------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| 【H25新規】 女性の活躍応援事業 (「あおもりハンサムウーマンセミナー」の開催) | 将来管理職やリーダーとして活躍する意欲のある女性を対象に、人材育成セミナーを開催する。 | — | 2,797 | 青少年・男女共同参画課 |
| 働く女性応援事業 | 働いている女性を対象に、働き続けるためには何が必要かを学ぶキャリアセミナーを開催した。 (五所川原地区) 12月2日 (日) ELM文化センター (五所川原市) (三沢地区) 1月13日 (日) ホテル青森屋 (三沢市) (青森地区) 1月14日 (月・祝) アピオあおもり (青森市) | 988 | 988 | 青少年・男女共同参画課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|--------------------------------------|---|--------|--------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| あおもりウィメンズアカデミーの開催 | 男女共同参画の視点で地域課題の解決策を考える講座等を開催し、政策・方針決定過程へ参画できる女性人財を育成した。 ・実施期間 6月～11月 ・実施場所 青森市、十和田市、つがる市 ・定 員 各地区10名 | 指定管理業務 | 指定管理業務 | 男女共同参画センター |
| 女性ロールモデル情報提供事業 | 就労や起業、社会貢献等の様々な分野でチャレンジする女性の目標となるロールモデルの女性を取材し、県HPで情報提供した。 ・取材者数 12名 | 206 | 206 | 青少年・男女共同参画課 |
| 地域ネットワーク構築支援事業 | 地域内において市町村や団体等が連携し、自主的に活動していくための地域ネットワークの構築及び運営を支援した。 〈中南地域〉※独自に設立 ・男女共同参画ネットワーク・津軽広域 ・市町村担当者ネットワーク会議 〈上十三地域〉 ・上十三地域男女共同参画ネットワーク ・上十三地域男女共同参画ネットワーク市町村会議 〈下北地域〉 ・下北地域男女共同参画ネットワーク ・下北地域男女共同参画ネットワーク市町村会議 | 307 | 307 | 青少年・男女共同参画課 |
| 「奥入瀬サミット2012」の開催 | 女性リーダーの人財育成とネットワーク化をめざし、全国の女性リーダーを主な対象に、2泊3日のセミナーを開催した。 ・開催時期 9月7日(金)～9月9日(日) 星野リゾート 奥入瀬溪流ホテル ・参加者数 55人 | 11,152 | 11,152 | 地域活力振興課 |
| 元気な地域農業づくり普及活動推進事業(農山漁村女性リーダー育成普及活動) | 農山漁村女性の能力と社会的評価の向上を図るため、すぐれた地域活動の実績を持つ農山漁村女性リーダーを「VIC・ウーマン」として認定し、地域活動を支援した。 また、家族経営における女性の経営参画を進めるため、家族経営協定を締結する農家の拡大を働きかけた。 ・男女共同参画検討会の開催(8回) 5月～1月(各県民局、県庁) ・農林漁業と知事との新春トーク 1月15日(火) 青森市アスパム ・農山漁村女性の日青森県大会 2月13日(水) 青森市青森国際ホテル ・女性リーダー役割開発セミナーの開催(18回) 6月～2月(各県民局) ○VIC・ウーマン認定数 386人 家族経営協定締結農家戸数 1,091戸 | 1,870 | 1,758 | 農林水産政策課 |
| 新ステージの漁村を担う人財啓発事業 | 女性を含めた中堅の漁業者や漁協職員を対象に研修を開催し、現場力を持った経営改善のためのリーダーとなる「浜のマネージャー」を育成した。 ・浜のマネージャー塾の開催(5回) 6月10日(月) 水産ビル(青森市) 7月 8日(月) アスパム(青森市) 8月30日(金) アスパム(青森市) 11月11日(火)～12日(水) 深浦町フィットネスプラザゆとり(深浦町) 12月13日(金) アスパム(青森市) | 2,980 | 2,869 | 水産振興課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|--------------------------------|---|-------|-------|------------------|
| | | H24 | H25 | |
| 津軽の女性起業家育成推進事業 | 女性を対象に、起業のための講座を開催し、アクションプラン作成を支援するとともに、作成したアクションプランの実践を支援し、地域での支援体制の強化を図った。 ・実施期間 9月～11月（計5回開催） ・実施場所 弘前市ほか ・参加者数 延べ83人 | 1,865 | 事業終了 | 中南地域県民局 地域連携部 |
| 【H25新規】 西北トッププレーヤーズ育成環境整備事業 | 意欲ある女性等に研修機会を提供し、先進地視察等への助成を行うとともに、研修参加者による情報交換会等の開催を通じて、地域経済や地域づくりをけん引していくトッププレーヤーズがステップアップできる環境づくりを進めていく。 | — | 2,894 | 西北地域県民局 地域連携部 |

《基本目標Ⅱ》 男女共同参画意識の定着

【重点目標3】 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革 (単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|-------------------|--|--------|--------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| パートナーセッションの開催 | 広く県民に男女共同参画の普及啓発を図るための講演会等を開催した。 ・実施期間 11月4日（日） ・実施場所 アピオあおもり（青森市） ・講師（基調講演） 辛 淑玉 | 指定管理業務 | 指定管理業務 | 男女共同参画センター |
| 地域パートナーセッション開催 | 地域ネットワーク及び市町村との共催により、男女共同参画の意義を普及啓発するための講演会等を開催した。 ・事前学習会の開催 6月24日（日） アピオあおもり（青森市） ・上十三地域パートナーセッションの開催 10月8日（月） 十和田市民文化センター（十和田市） ・中南地域パートナーセッションの開催 11月18日（日） 弘前市総合学習センター（弘前市） | 指定管理業務 | 指定管理業務 | 男女共同参画センター |
| 市町村男女共同参画支援事業 | 市町村における基本計画策定及び改定を支援した。 ・策定率95.0%（40市町村中38市町村が策定） | — | — | 青少年・男女共同参画課 |
| いきいき男女共同参画社会づくり事業 | 男女共同参画社会の実現に向けて、顕著な功績のあった個人・団体及び起業を表彰（知事表彰）し、県民の関心を高めたとほか、啓発用テキストを作成し、企業・団体等へ配布した。 ・知事表彰 【奨励賞】 「女性のチャレンジ部門」1人 「企業の職場づくり部門」3企業（事業所） ・啓発パンフレットの作成 「平成24年度版 職場・家庭・地域における男女共同参画の実現」作成・配布 | 415 | 415 | 青少年・男女共同参画課 |

【重点目標4】 男性にとっての男女共同参画の推進

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|----------------------|---|-------|-----|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| カジダン・イクメンフォトコンテストの実施 | 男性が家事・育児に取り組む写真コンテストを開催し、受賞作品の県内巡回展示を実施した。 ・応募点数 54点 最優秀賞1点、優秀賞2点、入選3点、展示作品20点 ・県内巡回展示 6カ所 | 618 | 618 | 青少年・男女共同参画課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|------------------|--|-------|-------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| カジダン・イクメン養成講座の開催 | 男性を対象に、ワーク・ライフ・バランスや家事・育児・介護を学ぶ講座を開催した。 (弘前地区) 12月22日(土) 弘前市文化センター(弘前市) (八戸地区) 1月19日(土) 八戸市福祉公民館(八戸市) (青森地区) 1月20日(日) アピオあおもり(青森市) | 1,475 | 1,475 | 青少年・男女共同参画課 |

【重点目標5】 男女共同参画に関する教育・学習の機会の充実

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|--------------------|--|-------|-------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| 男女共同参画職員研修会の開催 | 行政関係職員等の意識啓発に向けて、男女共同参画に関する研修会を開催した。 ・開催日 12月14日(金) ・開催場所 青森県庁 会議室 | — | — | 青少年・男女共同参画課 |
| 市町村担当課長会議の開催 | 市町村の担当職員に対し、男女共同参画に関する情報交換及び研修を開催した。 ・開催日 6月1日(金) ・開催場所 アピオあおもり 大研修室1 ・研修会講師 内海 隆(青森公立大学 教授) | — | — | 青少年・男女共同参画課 |
| 大学生のための将来設計セミナーの開催 | 大学生を対象に、就業をめぐる現状を知り、自分自身のライフプランを考えるセミナーを開催した。 (青森地区) 7月27日(金) 青森中央学院大学(青森市) (弘前地区) 1月30日(水) 弘前大学(弘前市) | 667 | 667 | 青少年・男女共同参画課 |
| 家庭教育支援推進事業 | 「家庭教育アドバイザー」の派遣等により、家庭教育支援を推進した。 ・家庭教育支援推進協議会の設置 委員10名 年3回 ・家庭教育アドバイザー養成講座(七戸町・青森市) 開催 参加者数34名 ・家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム(乳幼児・小学生編)」作成 1,500部 ・家庭教育支援研修会(青森市) 参加者数33名 | 1,029 | 1,029 | 生涯学習課 |
| 社会教育主事有資格者育成派遣事業 | 社会教育主事の有資格者を養成するため、指導主事や学校教員等を社会教育主事講習に派遣した。 ・派遣人数 1名 | 486 | 450 | 生涯学習課 |
| 絆でつながる家庭教育支援セミナー | 子育てを地域全体のものとしてとらえ、子どもを真ん中において支え合う地域の絆を育むセミナーを開催した。 ・開催地区等 西北地区(つがる市、鱈ヶ沢町) 下北地区(むつ市大畑地区、大間町) ・受講者数 82名 ・実践活動参加者数 203名 | 1,318 | 1,318 | 生涯学習課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|--------------------|--|--------|--------|------------|
| | | H24 | H25 | |
| 生涯学習推進基盤整備事業 | <p>生涯学習振興法の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備することを目的として、生涯学習推進本部等を運営するとともに、生涯学習推進に資する施策の重要事項について総合的に調査・審議するための生涯学習審議会を運営した。</p> <p>(1) 生涯学習推進本部 県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業についての調査を行い、その結果を「平成24年度青森県生涯学習関連事業調査の結果」として取りまとめた。</p> <p>(2) 青森県生涯学習審議会 【方針】青森県教育振興基本計画が目指す状態の実現のために、生涯学習分野が展開する施策について総合的に審議する。</p> <p>ア 第10期青森県生涯学習審議会 ・委員 20名 ・任期 2年(平成22年8月～平成24年8月) ・会議等の概要 7月5日 第5回審議会:報告書について 8月7日 会長・副会長から教育長へ報告書を提出</p> <p>イ 第11期青森県生涯学習審議会 ・委員 15名 ・任期 2年(平成24年8月～平成26年8月) ・会議等の概要 10月17日 第1回審議会:会長、副会長選出 2月15日 第2回審議会:審議テーマについて</p> | 1,131 | 1,014 | 生涯学習課 |
| あおもり県民カレッジ学習支援総合事業 | <p>「あおもり県民カレッジ」を開設し、県民の学習機会の充実を図り、学習成果を活かして社会参加できるよう総合的に支援した。</p> <p>(1) あおもり県民カレッジの運営全般 ア あおもり県民カレッジ連携機関との関係強化 ※連携機関数 560機関 イ 生涯学習支援のネットワーク構築 ウ 事務局の運営 ※あおもり県民カレッジ学生数 16,329名</p> <p>(2) 普及啓発事業 ア 学生募集 イ 生涯学習フェア2012の開催(10/13(土)) ※参加者数 1,400名 ・イベント(7/26(木)) ※参加者数 212名 ウ 生涯学習HPの作成</p> <p>(3) 学習情報提供・学習相談事業 ア 学習機会情報の収集・提供 イ 活動機会情報の収集及び提供 ウ 学習相談の実施 エ 県民カレッジ&生涯学習情報紙「てのひら」の発行</p> <p>(4) 学習機会提供事業 ア 地域キャンパス講座の開催 イ ボランティア活用支援</p> <p>(5) 評価サービス及び学習成果の活用支援事業 ア 認定証・奨励証の交付</p> | 指定管理業務 | 指定管理業務 | 総合社会教育センター |
| 被害者も加害者も出さない街づくり事業 | <p>犯罪を犯してはならない、犯罪は犯せないという規範意識の醸成と若年層(中・高・大学生)に対する重点的な取組として、中学生・高校生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」(中学6校、高校6校)、大学生を対象とした「社会を支える人づくり教室」(3校)、高校生・大学生を対象とした「性犯罪を真剣に考える教室」(高校1校、大学1校)を開催した。</p> <p>・性犯罪を真剣に考える教室 7月6日 青森明の星高校 1月21日 青森大学</p> | 4,082 | 3,125 | 県警教養課 |

【重点目標6】 国際的視点に立った男女共同参画の推進

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|--------------------|---|-------|-------|------------|
| | | H24 | H25 | |
| 国際規範・国際基準の理解・普及の推進 | 世界における災害や子どもの貧困の現状を男女共同参画の視点から見つめ直し、国際協力のあるべき姿について理解を深め、普及を図った。 ・実施日 1月12日(土) ・実施場所 アビオあおもり ・講師 桑山紀彦 | - | - | 男女共同参画センター |
| 外国青年招致事業 | 国際時代に対応した行政施策の推進や語学指導等を行うため、県、県教育委員会、市町村等に国際交流員(CIR)、外国語指導助手(ALT)を配置した。 | 3,644 | 3,644 | 国際経済課 |
| 青年海外協力活動促進事業 | 国際協力機構(JICA)が実施する青年海外協力隊等の派遣事業に対し、啓発・募集等に協力した。 | 204 | 204 | 国際経済課 |
| 国際交流ボランティア | 青森県国際交流協会において、通訳やホームステイ等のボランティア活動を行った。 国際交流ボランティア登録者数 登録者数 462人 うち女性 348人 男性 114人 | - | - | 青森県国際交流協会 |

《基本目標Ⅲ》 職場・家庭における男女共同参画の実現

【重点目標7】 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|--------------------------|--|-----------|-----------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| 【H25新規】 女性の活躍応援事業(再掲) | 意欲のある女性が能力を高め活躍していけるよう、企業や団体等が主体的に取り組んでいくために必要な女性の活躍「見える化」推進方策を検討するとともに、若手女性を対象にチャレンジする人財を育成する。 | - | 3,203 | 青少年・男女共同参画課 |
| 女性の再就職支援セミナー | 結婚・出産で離職した女性を対象に、ライフプランを考え、再就職を支援するための講座を開催した。 ・開催場所 アビオあおもり(青森市) ・開催回数 10回 ・開催内容 就職情報・面接講座、ビジネスマナー講座、コミュニケーション講座、パソコン基礎講座等 | 2,364 | 事業終了 | 青少年・男女共同参画課 |
| 青森県未来への挑戦資金(特別保証融資制度) | 県内で中小企業者として創業する者や、県内に事業所を有し、前向きな事業に取り組む中小企業者に対する融資制度として未来への挑戦資金を実施した。 H24実績 114件 4,591,300千円 | 2,307,000 | 5,379,000 | 商工政策課 |
| 【H25新規】 地域連携型起業家創出事業 | 平成23年度から実施した若者対象のベンチャー大賞コンテストに、女性起業家部門を新設し、女性の起業を支援している。 | - | 5,510 | 地域産業課 |
| 勤労女性講座の開催 | 働く女性の福祉向上を図るため、青森・弘前・八戸の3市で勤労女性講座を開催し、225人が参加した。 | 157 | 157 | 労政・能力開発課 |
| 青森県労働講座の開催 | 労使関係の安定化と福祉向上を図るため、県内事業所の労使関係者及び一般県民を対象として、青森・弘前・八戸の3市で青森県労働講座を開催し、158名が参加した。 | 412 | 402 | 労政・能力開発課 |
| 離職者等再就職訓練事業 | 離職者等の早期就職支援を図るため、民間教育訓練機関を活用した多様な訓練機会を提供した。(平成24年度実績1,891人修了、1,222人就職) | 1,012,661 | 929,715 | 労政・能力開発課 |

【重点目標8】 農林水産業及び自営の商工業における男女共同参画の促進

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|------------------|---|-------|-------|---------|
| | | H24 | H25 | |
| 若手後継者等育成事業 | 商工会議所、商工会の女性部等の活動、及び女性部員の資質向上のための研修会等の開催に対して支援した。 | 8,678 | 8,678 | 商工政策課 |
| 農山漁村の元気な女性活動促進事業 | 6次産業化の促進、新たな食産業の創出、働く場の拡大を支援するため、女性起業のネットワーク化を図るとともに、若手女性起業家を育成した。 ・広域ネットワーク会議の開催(2回) 8月10日(金)平川市 12月11日(火)青森市 ・地域ネットワーク会議(11回) 女性起業の先進事例紹介(7回) 女性の経営管理能力向上研修(18回) 5月～2月(各県民局) ・本格的な起業活動に取り組む若手女性への支援6件 ○農山漁村の女性起業数 376件 | 4,628 | 4,628 | 農林水産政策課 |
| 林業後継者活動支援事業 | 年配者から若妻まで当番制により役割分担を決め、山菜等を活用した郷土食の加工・販売や、イベントなどで地域の食育にも取り組んでいる、貝守やまゆり会(女性林業研究グループ)とその女性リーダーの活動支援を実施した。 | 150 | 430 | 林政課 |

【重点目標9】 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|----------------------|---|-------|-------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| ワーク・ライフ・バランス推進事業 | 「あおもりワーク・ライフ・バランス推進企業」の登録や情報誌を発行したほか、企業等を対象に講演会の開催やアドバイザーの派遣、男性向けに家事・育児参画を促進するための取組、働く女性を応援するためのセミナー開催や女性ロールモデルの情報提供等を行った。 〈ワーク・ライフ・バランス講演会〉 開催日 8月30日 開催会場 ベストウエスタンホテルニューシティ弘前(弘前市) 〈ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣事業〉 1回 28社対象 〈あおもりワーク・ライフ・バランス推進企業登録事業〉 登録企業数 18企業 〈情報誌の発行〉 「WLBのすすめ」作成・配布 | 3,782 | 3,731 | 青少年・男女共同参画課 |
| 命を大切にすることを育む県民運動推進事業 | 次代を担う子どもたちが、命を大切に、他人への思いやりを持ち、たくましく健やかに生きていけるよう、県民総ぐるみで育てていく環境を整えるため、「命を大切にすることを育む県民運動」を推進した。 〈命を大切にすることを育む県民運動推進フォーラムの開催〉 平成25年1月19日(土) 八戸市公民館 〈命を大切にすることを育む県民運動推進団体表彰〉 表彰団体数 3団体 | 2,176 | 2,176 | 青少年・男女共同参画課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|-----------------------------------|--|-----------|-----------|----------|
| | | H24 | H25 | |
| 特色教育支援経費補助（預かり保育等） | 預かり保育及び子育て支援活動を行う私立幼稚園を有する学校法人に対し、事業に要する経費について補助した。 平成24年度補助実績 1 通常預かり保育に対する補助 104園 2 一般休業日預かり保育に対する補助 49園 3 長期休業日預かり保育に対する補助 103園 4 子育て支援活動に対する補助 86園 | 148,502 | 163,126 | 総務学事課 |
| 育児・介護休業者生活安定資金融資制度 | 育児・介護休業している労働者を対象に生活資金の融資枠を設けることにより、育児・介護休業制度の利用促進及び労働者の生活の安定を図った。 | 1,624 | 1,613 | 労政・能力開発課 |
| 保育対策等促進事業等 | 多様な保育サービスを実施する市町村（中核市を除く）に対し補助を行った。 延長保育/一時預かり/特定保育/地域子育て支援拠点事業/休日保育/病児・病後児保育 | 1,224,553 | 1,173,733 | こどもみらい課 |
| 保育料軽減事業費補助 | 保護者等が現に扶養している3人目以降の子（3歳未満児）にかかる保育料を軽減する事業を実施する市町村に対して経費の助成を行った。 | 79,198 | 83,446 | こどもみらい課 |
| 認可外保育施設児童対策事業 | 認可外保育施設に入所している児童の福祉の向上と子育て支援を図るため、入所児童の健康診断料や保育材料に対する助成を行った。 | 2,430 | 2,160 | こどもみらい課 |
| 保育所緊急整備事業 | 子育て支援対策臨時特例基金（安心こども基金）を財源とし、保育所の整備等の事業を実施する市町村に対し、経費の助成を行った。 | 1,021,586 | 1,051,872 | こどもみらい課 |
| 【H25新規】 地域子育て支援事業 | 家庭や地域における子育て機能の推進や子育て中の親の負担軽減を図る事業を実施する市町村に対して経費の助成を行う。 | — | 401,166 | こどもみらい課 |
| 放課後児童健全育成事業費補助 | 放課後児童クラブを設置する市町村に対して助成を行った。 | 389,993 | 395,819 | こどもみらい課 |
| 子どもへの虐待防止対策事業 | 医療機関、警察、教育機関等により構成する青森県要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関の恒常的な連携を深めるとともに、下記のとおり県内2地区で子ども虐待要保護児童対策研修会を開催し、体制整備並びに虐待未然防止に取り組む気運の醸成を図った。 1月18日（金）八戸市総合福祉会館 2月22日（金）五所川原市民学習情報センター | 555 | 527 | こどもみらい課 |
| あおもり子育て応援わくわく店事業（店舗等による子育て支援サービス） | 子育て家庭に対し割引等のサービスを行う協賛店を「あおもり子育てわくわく店」として登録し、地域・社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進した。 平成25年3月末現在 登録店舗数 1,371店舗 | — | — | こどもみらい課 |
| 市町村児童家庭相談支援力レベルアップ事業 | 子どもを守る地域ネットワーク（市町村要保護児童対策地域協議会）のネットワーク力や市町村のリーダーシップ、専門性の強化を図った。 | 3,779 | 3,779 | こどもみらい課 |
| 親子に優しい街づくり推進事業 | 県内の子育て支援サービスやあおもり子育て応援わくわく店サービスを利用して、安心して子育てができるよう、親子に優しい街マップ（パソコン版及びモバイル版マップ）を提供したほか、県内4地区で子育て支援情報発信セミナーを開催した。 11月12日（月）弘前市立観光館 11月13日（火）八戸市公民館 11月19日（月）アピオあおもり 11月20日（火）十和田市民文化センター | 9,101 | 2,750 | こどもみらい課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|----------------------|--|---------|---------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| 医師の働きやすい環境づくり支援事業 | 出産等で離職した女性医師が復職しやすく、また育児しながら安心して勤務し続けられるよう、県内自治体病院における医師の就労環境改善を支援した。 ①医師相談窓口の運営(県医師会へ委託) ②勤務サポートシステム構築事業のフォローアップ ③臨床研修医セミナー等における育児関連制度説明 | 5,265 | 5,265 | 医療業務課 |
| 周産期地域医療再生特別対策事業 | 周産期医療の一層の充実を図るため、総合周産期母子医療センター等に対し、本県周産期医療の特徴、改善策等に関する研究委託や補助を実施した。 | 254,351 | 145,982 | 医療業務課 |
| 介護員養成研修 | 高齢者の増大かつ多様化するニーズに対応した適切な訪問介護を提供するため、必要な知識・技能を有する訪問介護員を養成する研修を実施した。 平成24年度修了者数 2,593人 | — | — | 高齢福祉保険課 |
| 介護サービス情報の公表制度支援事業 | 介護事業所における介護サービスに係る情報をインターネット上で検索できるよう公表した。 | 8,210 | 8,536 | 高齢福祉保険課 |
| 家庭教育相談事業(すこやかほっとライン) | 家庭教育について、不安や悩みを持つ親等を対象に、電話や面談、メールによる相談を行った。 ・相談件数 55件 | 431 | 406 | 生涯学習課 |
| 放課後子ども教室推進事業 | 小学生を対象に、安全・安心な居場所と地域の大人の参画による様々な体験活動を実施する放課後子ども教室を設置する市町村に対して助成を行った。 ・24市町村(中核市を除く) 91子ども教室 | 57,795 | 49,161 | 生涯学習課 |
| しあわせ未来予想図 | 性別役割分担意識によって生きがたさを感じている乳幼児を持つ子育て中の女性に、子育てしながら自分らしく生きることについて考え、一歩踏み出すきっかけとなる講座を開催した。 ・実施回数 6回 ・実施会場 アピオあおもりのべ63人 | — | — | 子ども家庭支援センター |

4

男女共同参画の推進に係る主な取組・関連事業

《基本目標Ⅳ》 地域社会における男女共同参画の実現

【重点目標10】 高齢者・障害者・外国人等が安心して暮らせる環境づくり

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|------------------|---|--------|--------|----------|
| | | H24 | H25 | |
| 障害者雇用の促進 | 障害者の雇用の促進を図るため、優良事業所見学会(H24 6回)や短期職場実習(H24 17件)を実施した。 | 35,579 | 27,677 | 労政・能力開発課 |
| シルバー人材センター育成援助事業 | シルバー人材センター事業の普及啓発や各種講習会等を実施している青森県シルバー人材連合会に対し、事業費等を補助した。 (1) 会員数7,279人 (2) 受注件数42,298件 (3) 契約金額2,947,390千円 | 8,941 | 8,926 | 労政・能力開発課 |
| 青森県福祉人材センターの運営 | 福祉人材無料職業紹介事業、社会福祉事業従事者研修事業、福祉人材確保相談事業等により、潜在的マンパワーの掘り起こしや豊かな人間性を備えた資質の高い福祉人材の確保・養成を行った。 ・福祉人材無料職業紹介事業 相談件数 3,444件 ・社会福祉事業従事者等に対する研修 研修会等開催回数 13回 ・福祉人材確保相談事業 相談会等開催回数 21回 | 37,971 | 37,958 | 健康福祉政策課 |
| 青森県介護実習・普及センター事業 | 県民への介護知識や技術を普及するための実習等の事業を実施したほか、介護機器(福祉用具)の相談体制を整備し普及を図った。※(社福)青森県社会福祉協議会に事業委託 | 4,936 | 4,838 | 高齢福祉保険課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|-------------------|--|--------|--------|---------|
| | | H24 | H25 | |
| 青森県長寿社会振興センター運営事業 | 高齢者が知識と経験を活かし、生涯を健康で生きがいをもって社会活動を行っていくための各種事業を実施した。 平成24年度実施した主な事業 ・あおりシニアフェスティバル ・青森シニアカレッジ ・高齢者ラジオ放送講座 ・全国健康福祉祭（ねんりんピック）派遣 ※（社福）青森県すこやか福祉事業団に事業委託 | 15,953 | 16,794 | 高齢福祉保険課 |
| バリアフリーマップ運用管理事業 | 県内の公共施設、公共交通機関、道路、公園等のバリアフリー化について実態調査した結果をホームページで公開した。 | 998 | 998 | 障害福祉課 |
| 盲女性家庭生活訓練事業 | 視覚障害者の女性を対象に、家庭内での日常生活に必要なことに関する講習会や見学会を開催した。 【全体】 ・講習会（健康体操等） 9月9日（日）青森市・福祉増進センター 3月3日（日）青森市ふれあいの館 ・見学会 11月25日（日）「新青森駅」、「ワラッセ」 【青森支部】 ・講習会（ヨガ・スキンケア） 7月15日（日）、8月19日（日） 青森市ふれあいの館 10月14日（日）青森市・総合福祉センター 【八戸支部】 ・講習会（料理、生け花） 8月18日（土）八戸市福祉公民館 12月23日（金）八戸市・更正館 【弘前支部】 ・講習会（料理、生け花） 8月6日（月）弘前市・講師宅 12月21日（金）弘前市身障センター | 指定管理業務 | 指定管理業務 | 障害福祉課 |
| 障害者社会参加推進センター運営事業 | 障害者の社会参加を推進するため、青森県身体障害者福祉センターねむのき会館に障害者社会参加推進センターを設置するほか、青森県障害者社会参加推進協議会の設置・運営や、障害者110番運営事業等を行った。 | 505 | 505 | 障害福祉課 |
| 外国青年招致事業（再掲） | 国際時代に対応した行政施策の推進や語学指導等を行うため、県、県教育委員会、市町村等に国際交流員（C I R）、外国語指導助手（A L T）を配置した。 | 3,644 | 3,644 | 国際経済課 |
| 国際交流ラウンジの管理運営事業 | 県民の国際交流・国際理解の促進を図り、県民と県内在住外国人等との交流の場を提供するため、各種相談窓口、資料閲覧コーナー等の機能を備えた国際交流ラウンジの管理運営を行った。 ※（公財）青森県国際交流協会に委託 | 6,929 | 6,882 | 国際経済課 |
| 多文化共生推進事業 | 多文化共生の重点分野に係る事業を公募により実施した。 | 11,618 | 9,387 | 国際経済課 |

【重点目標11】 生活上の困難に直面する男女への支援

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|-------------|--|---------|---------|---------|
| | | H24 | H25 | |
| 民生委員費市町村交付金 | 地区住民の生活状況の把握や要支援者に対する相談・援助等を行う民生委員・児童委員の活動等に要する経費を市町村に交付した。 ・民生委員定数：2,756名 ・相談、支援件数：83,613件 ・活動日数：274,627日 ※青森市を除く | 137,013 | 137,013 | 健康福祉政策課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|------------------|---|-----------|-----------|---------|
| | | H24 | H25 | |
| 母子家庭等就業・自立支援センター | 母子家庭の就業技能の習得により自立の促進を図るため、各種講習会等を実施した。 〈訪問介護員養成研修2級課程〉 ・弘前会場 8月20日～9月28日 11名 ・八戸会場 9月15日～12月1日 5名 〈パソコン講習会エクセル3級課程〉 ・弘前会場 7月9日～10月17日 8名 ・五所川原会場 7月20日～10月24日 8名 ・十和田会場 7月26日～11月14日 1名 〈経理・パソコン講習会エクセル3級課程・経理事務初歩〉 ・八戸会場 7月6日～11月30日 6名 ・むつ会場 7月4日～10月31日 10名 〈調理師試験準備講習会〉 ・弘前会場 7月19日・20日 5名 ・八戸会場 7月5日・6日 1名 ※（公財）青森県母子寡婦福祉連合会への委託事業 | 10,336 | 10,239 | こどもみらい課 |
| ひとり親家庭等日常生活支援事業 | 一時的に介護や保育を必要とする母子家庭や父子家庭等の世帯に対し、介護人を派遣し、必要な介護や保育等を行った。 | 313 | 395 | こどもみらい課 |
| ひとり親家庭等医療費助成事業 | 母子家庭、父子家庭等の健康保持と福祉の増進を図るため、医療費の助成を行った。 | 428,892 | 473,635 | こどもみらい課 |
| 母子寡婦福祉資金貸付 | 母子家庭・寡婦に対し、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図るため、母子福祉資金及び寡婦福祉資金の貸付を行った。 | 393,478 | 369,160 | こどもみらい課 |
| 児童扶養手当の支給 | 父又は母と生計を同じくしていない児童が養育される家庭の生活の安定と自立の促進のため、児童扶養手当を支給した。 | 1,799,617 | 1,760,440 | こどもみらい課 |
| 母子自立支援員による相談の実施 | 母子・父子家庭及び寡婦を対象に相談・就労指導等を行うため、母子自立支援員による相談を実施した。 相談件数 7,711件 | 12,167 | 12,177 | こどもみらい課 |
| 母子自立支援プログラム策定事業 | 母子家庭の母の就業・自立支援策として、各福祉事務所の母子自立支援員が母子自立支援プログラム策定員の業務を兼務し、自立に意欲のある児童扶養手当受給者の相談に対して、自立支援計画書を作成し、併せて母子家庭等就業・自立支援センター事業等の必要な説明や情報提供、連絡調整を行った。 | 55 | 55 | こどもみらい課 |

【重点目標12】 地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|-----------------------|---|-------|-------|-------|
| | | H24 | H25 | |
| 防災会議の運営 | 地域防災計画及び各種防災対策の充実を図るため、男女共同参画の推進及び高齢者や障害者などの多様な主体の参画を促進することとし、県防災会議の委員として自主防災組織を構成する者又は学識経験者を加えた。 | 377 | 485 | 防災消防課 |
| 【H25新規】 消防団員確保対策事業 | 女性を含む消防団員の入団を促進するため、市町村が実施する消防団員確保対策に要する経費に対して補助金を交付するとともに、各種広報媒体を活用して広報活動を展開する。 | — | 3,260 | 防災消防課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|---------------------------------|---|--------|--------|---------|
| | | H24 | H25 | |
| 災害に強いまちづくり・ひとづくり事業 | 地域防災関係機関で構成する青森県地域防災連絡会議を開催し、自主防災組織活動の活性化方策等を検討したほか、鱒ヶ沢町をモデル地区として地域勉強会を開催し、その内容等を盛り込んだ地域防災心得書を作成した。 (青森県地域防災連絡会議) (3回) 10月24日(水) 県庁(青森市) 12月12日(水) 県庁(青森市) 2月20日(水) 県庁(青森市) (地域勉強会) (2回) 10月30日(火) 鱒ヶ沢町中央公民館(鱒ヶ沢町) 12月21日(金) 鱒ヶ沢町中央公民館(鱒ヶ沢町) | 3,467 | — | 防災消防課 |
| 【H25新規】 自主防災組織育成強化特別 推進事業 | 自主防災組織の育成強化と本県の防災体制の充実強化を目的に研修会を開催するほか、県内の自主防災組織を対象として、活動に必要な資機材の購入経費等に対して補助金を交付する。 | — | 79,808 | 防災消防課 |
| 青森県幼少年女性防火委員 会の運営 | 本県の女性防火クラブ等の健全な育成と火災予防思想の普及に寄与するため、防火の集いや女性防火クラブリーダー研修会等を実施した。 (防火の集い) 8月31日(金) 岩木文化センター(弘前市) (女性防火クラブリーダー研修会) 11月29日(木) 青森県消防学校(青森市) | — | — | 防災消防課 |
| NPO等活動情報提供事業 | NPO法人等のNPO活動情報を県民に対し情報提供するため、情報誌を発行した。 ・発行回数 年2回 ・発行部数 各1万5千部 | 1,296 | 事業終了 | 県民生活文化課 |
| あおり新しい公共支援事業 | 「新しい公共」の担い手であるNPO等の自立的活動を後押しし、県内の新しい公共の拡大と定着を図るため、NPO等の活動基盤整備や多様な主体との協働モデル事業等に取り組んだ。 ・モデル事業 11件(H24年度) | 86,199 | 3,083 | 県民生活文化課 |
| あおりNPO協働推進事業 | NPO等と県との協働を推進するため、県の取組に対してNPO等からマッチング活動の提案を受け協議を行う「出合いの場」の運営を実施した。 ・「出合いの場」開催回数 4回(H24年度) | 414 | 372 | 県民生活文化課 |
| 【H25新規】 NPO活動基盤強化支援事業 | 市民の共感を得る認定NPO法人を育成するとともに、認定NPO法人の認定緩和基準を策定して、NPO法人の活動基盤の強化を図る。 | — | 5,500 | 県民生活文化課 |
| 地域の教育力による学校支援活動推進事業 | 学校支援活動の充実を目指し、学校を支援する体制づくり等により、地域の教育力の向上を図るため、学校支援センターを開設する市町村に対して助成し、学校支援ボランティア活動を推進した。 ・15市町村(中核市を除く) 58カ所 | 10,800 | 9,228 | 生涯学習課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|---------------------------------|--|--------|-------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| 男女共同参画地域防災体制づくり事業 | 県内2ヵ所のモデル地域（青森市、おいらせ町）で、男女共同参画の視点から防災対策に関するワークショップ等を実施し、避難所等における男女のニーズの違いへの配慮などの課題とその解決策について検討した。また、その結果を踏まえ、男女双方の視点を取り入れた防災対策パンフレットを作成するとともに、講演会を開催し、男女が共同で災害に対応できる地域づくりとその重要性についての意識啓発を行った。 ※青森県東日本大震災復興基金事業 （青森市及びおいらせ町） ワークショップ 各4回開催 避難所ワークショップ 各1回開催 （講演会） 開催日 12月8日（土） 開催場所 アビオあおもり（青森市） （ハンドブック作成） 「男女共同参画の視点を取り入れた安心避難所ハンドブック」作成 | 4,055 | 事業終了 | 青少年・男女共同参画課 |
| 【H25新規】 男女の視点を活かした地域防災普及啓発事業 | 県内2地域において男女共同参画を推進するネットワークを生かし、男女共同参画の視点から誰もが安心して過ごすことのできる避難所づくりの研修会を開催する。 | — | 50 | 青少年・男女共同参画課 |
| 第3次あおもり男女共同参画プラン21推進啓発事業 | 男女共同参画の意識定着に向けて、地域への働きかけを青森県男女共同参画センターの事業実施を通じて積極的に取り組んだ。 ・男女共同参画講座の開催 県内4地区 ・イベント等への出前啓発 県内21ヵ所 ・広報啓発用「データで見る青森県の男女共同参画」の作成・配布 ・女性再就職支援セミナーの開催（青森市 全10回） | 10,353 | 事業終了 | 青少年・男女共同参画課 |
| 環境活動推進事業 | 各地域の子どもたちが、自主的に環境学習や実践活動を行う「こどもエコクラブ」の活動を支援したほか、あおもり地球クラブメールマガジンの発行を行った。 〈こどもエコクラブサポーター・コーディネーター研修会の開催〉 3月21日 ラ・プラス青い森（青森市） 〈あおもり地球クラブメールマガジンの発行〉 発行回数：毎月1回、計12回 メルマガ登録者数：867件（H25年3月末） | 285 | 226 | 環境政策課 |
| 北東北三県環境副読本共同作成事業 | 環境教育の推進の一環として、三県共同で小学校5年生を対象とした環境副読本及び教師用手引書を作成・配布した。 | 1,262 | 1,213 | 環境政策課 |
| 地域の人財による環境教育推進事業 | 低炭素・循環型社会の実現に向け、子どもから大人までを対象とした環境教育の機会を継続的に提供していくことを目的に、主に小学生を対象とした環境出前講座を実施するとともに、地域が主体となった環境教育が持続可能となる仕組みを構築するほか、大人向け環境教育プログラムを整備し、利用普及を図った。 ・環境出前講座の実施 実施箇所：102ヵ所 プログラム実施回数：159回 受講者数：5,021名 | 18,406 | 事業終了 | 環境政策課 |
| 【H25新規】 エコの学びと実践プログラム推進事業 | 環境教育専門員による環境出前講座を実施するほか、親子を対象とした環境教育プログラムを整備し、交流会を開催する。 | — | 5,914 | 環境政策課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|---------|---|-------|-----|-------|
| | | H24 | H25 | |
| 環境教育の推進 | 一人一人の児童生徒が、環境や人間とのかかわりについて関心や理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努めている。環境教育の推進を図るため、青森県総合学校教育センターにおいては、環境教育講座を開設し、担当教員の指導力の向上を図った。 | 198 | 198 | 学校教育課 |

〈基本目標Ⅴ〉 男女の人権が推進・擁護される社会の形成

【重点目標13】 女性に対するあらゆる暴力の根絶

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|--|---|--------|--------|---------|
| | | H24 | H25 | |
| 配偶者暴力相談支援センターの運営 | 女性相談所、6ヵ所の地域県民局地域健康福祉部福祉総室・福祉こども総室、青森県男女共同参画センターの合計8ヵ所で、配偶者暴力相談支援センターの業務として、電話や面接によるDV被害者からの相談に応じ、一時保護、情報提供等必要な支援を行った。また、女性相談所に24時間フリーダイヤルで受け付けする「DVホットライン」を設置し、DV被害者を発見した方からの通報や緊急相談を受けた。 相談件数 715件 DV通報件数 28件 | 21,591 | 21,777 | こどもみらい課 |
| DV被害者支援事業 | 一時保護を受けているDV被害者や母子生活支援施設入居者等が、施設を退所後の自立を支援するため、退所後身元保証人を確保できない場合、施設長等が被保険者（身元保証人）として契約した損害保険料に対して補助する。（身元保証人対策事業費） | 30 | 30 | こどもみらい課 |
| DV被害者自立支援強化事業 | DV被害者の保護及び自立支援の強化を図るため、民間団体が設置するシェルターの運営や支援に携わるボランティアの養成等に要する経費に対して補助した。 | 4,938 | 事業終了 | こどもみらい課 |
| 「配偶者からの暴力防止及び被害者支援計画」（DV基本計画）に基づく施策の実施 | DV基本計画に掲げた各種施策を実施するとともに、計画に掲げた重点目標について、DV防止対策推進会議において実施状況等を評価し、効果的な施策の推進に取り組むとともに、H25に計画期間の終了を迎える同計画の次期計画の策定に向けた検討を行う。 | 79 | 973 | こどもみらい課 |
| ハートフルコミュニケーション推進事業 | 中学生を対象として、暴力予防啓発セミナーを実施し、良好なコミュニケーションについて学ぶ機会を提供した。 〈下北地区〉 むつ市立大平中学校（7月9日（月）98名） 〈中南地区〉 黒石市立六郷中学校（7月13日（金）51名） 〈上北地区〉 東北町立東北東中学校（7月19日（木）59名） 〈東青地区〉 青森市立北中学校（8月30日（木）35名） 〈三八地区〉 八戸市立鯨中学校（11月8日（木）83名） 〈西北地区〉 五所川原市立五所川原第四中学校 （12月7日（金）33名） | 930 | 830 | こどもみらい課 |
| DV防止広報事業 | DV防止リーフレット等を作成・配布し、DV防止について県民の正しい理解の普及に努めた。 | 628 | 628 | こどもみらい課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|---------------|---|-------|-------|-----------|
| | | H24 | H25 | |
| DV予防啓発事業 | DVについての正しい理解の普及を図るため、高校生や大学生を対象として、デートDV予防啓発セミナーを実施した。 ・県立保健大学 7月2日(月) 8名 ・大間高等学校 7月5日(木) 229名 ・八戸水産高等学校 7月12日(木) 139名 ・青森中央短期大学 9月21日(金) 86名 ・東奥義塾高等学校 12月19日(水) 241名 ※NPO法人ウィメンズネット青森への委託事業 | 5,594 | 事業終了 | こどもみらい課 |
| 高齢者権利擁護相談支援事業 | 市町村を対象に、社会福祉士及び弁護士による相談事業を実施し、高齢者虐待への対応を図った。 | 492 | 492 | 高齢福祉保険課 |
| 犯罪被害者支援事業 | 青森県被害者支援連絡協議会及び幹事会を開催し情報交換や情報共有を図るとともに、公益社団法人あおもり被害者支援センターと連携した被害者支援活動を展開している。 また、被害者等の精神的・経済的被害を軽減するため、診断書料等の県費負担、女性職員の被害者支援要員による被害者への付き添い、情報提供等を実施しているほか、警察職員である臨床心理士によるカウンセリング、女性警察官が相談に応じる女性被害者相談所・性犯罪被害110番を設置するなど被害者支援体制を整備している。 | - | - | 県警教養課 |
| ストーカー対策事業 | 積極的な広報活動により、ストーカー事案の早期相談を呼びかけたほか、ストーカー・DV担当警察職員を対象に研修会を開催し、相談対応能力の向上を図るとともに、警察署等に女性アドバイザーを配置して、ストーカー・DV相談等の女性対象暴力相談体制を整備している。 ・ストーカー・DV担当者研修会 5月10日(木) 県警察学校(青森市) ・女性アドバイザー研修会 7月3日(火) 県警察学校(青森市) | 1,242 | 1,242 | 県警生活安全企画課 |

【重点目標14】 メディアにおける男女共同参画の推進

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|----------------|---|-------|-------|-------------|
| | | H24 | H25 | |
| 公的広報表現ガイドライン | 職員一人ひとりが男女共同参画の意識を持って県の文書・刊行物等を作成できるよう、平成14年度に作成した「公的広報表現ガイドライン」を知事部局、教育庁、警察本部、各種委員会、県内市町村、都道府県、関係機関等に配布している。 | - | - | 青少年・男女共同参画課 |
| 有害図書等点検・立入調査事業 | 青森県青少年健全育成条例に基づき青少年の健全な育成を阻害するおそれのある図書類等の指定と自動販売機等に収納されている図書類等の点検を行った。 ・条例第12条に基づく図書類の指定 月刊誌7冊、コミック誌14冊 ・図書类等収納自動販売機 設置台数 67台 設置箇所 22カ所(県内11市町村) | 1,348 | 1,348 | 青少年・男女共同参画課 |

【重点目標15】 生涯を通じた男女の健康支援

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|------------|---|--------|--------|------------|
| | | H24 | H25 | |
| 生活習慣病対策の推進 | 生活習慣病の予防のため、喫煙防止や肥満予防などの対策を実施している。また、健診等データの集計分析により、総合的な地域診断を行う手法を確立し、地域への普及定着を図るとともに、健康づくりや生活習慣病に関するヘルスリテラシー(健やか力)の推進を図った。 | 88,186 | 87,550 | がん・生活習慣対策課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|---------------------|--|---------|---------|------------|
| | | H24 | H25 | |
| がん検診の推進 | がん検診従事者を対象とした講習会を委託により開催し、検診従事者の質の底上げによる、県全体のがん検診の精度の向上を図った。 ・青森県総合健診センター委託による開催 4回 ・日本臨床細胞学会青森県支部による開催 1回 ・青森県放射線技師会による開催 1回 | 996 | 996 | がん・生活習慣対策課 |
| 喫煙対策推進事業 | 未成年者や事業所等を対象とした防煙教室や禁煙教室、地域住民、学校保健関係者等を対象とした研修会等を開催し、喫煙に関する知識の普及啓発を図った。 ・防煙教室、禁煙教室 5回 (弘前、八戸、五所川原、上十三、むつの各保健所で1回ずつ開催) ・未成年者喫煙防止対策検討会の開催 3月15日(金) 青森グランドホテル | 1,221 | 2,024 | がん・生活習慣対策課 |
| 特定健診・特定保健指導の推進 | 市町村が、生活習慣病を予防するための特定健康診査・特定保健指導に要する費用の一部を負担するとともに、取組が効率的かつ効果的に実施されるよう支援した。 | 181,815 | 184,240 | 高齢福祉保険課 |
| 妊産婦の健康支援 | 妊産婦情報共有システムにより、医療と保健関係者が妊産婦に係る情報共有を図り、妊産婦が安心して妊娠・出産の時期を過ごすための連携強化に努めた。 また、地域における母子保健の課題を共有、産後うつ病の予防対策等の検討を行うためのネットワーク会議等を開催した。 ・ネットワーク会議開催期間：4月～3月 ・6保健所管内で計17回開催 | 470 | 470 | こどもみらい課 |
| 母子の保健指導及び相談事業 | 女性が安心して子どもを産み、育てるための保健指導として、未熟児訪問指導、療育相談、長期療養児療育相談指導などを実施した。 | 1,592 | 1,268 | こどもみらい課 |
| 特定不妊治療費助成事業 | 特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため治療費の一部を助成した。 | 80,586 | 87,219 | こどもみらい課 |
| 乳幼児はつらつ育成事業 | 乳幼児に対し、速やかな診療、治療の機会を与えること等を目的に、市町村が実施する乳幼児医療費給付事業に対し、補助を行った。 | 651,423 | 635,292 | こどもみらい課 |
| ママとパパの健やか生活習慣サポート事業 | 若年期の生活習慣の正しい知識の普及啓発とともに、妊婦の夫で喫煙している方を対象に、専門家による禁煙支援を行い、母子の受動喫煙防止を促進し、母子の健康と低出生体重児の減少に努めた。 | 5,510 | 4,367 | こどもみらい課 |
| 不妊専門相談センター事業 | 不妊に悩む男女に対して不妊治療等の情報や最新の治療方法を紹介し、安全な妊娠、出産を支援するため、専門機関による不妊治療等の相談窓口を弘前大学医学部附属病院に開設している。 | 1,160 | 1,467 | こどもみらい課 |

(単位：千円)

| 取組・事業名 | 内 容 | 当初予算額 | | 担当課 |
|--------------------|--|--------|---------------|---------|
| | | H24 | H25 | |
| 自殺対策緊急強化事業 | <p>地域における自殺対策力の強化を図るために「地域自殺対策緊急強化基金」(内閣府)を造成し、地域における自殺対策力の強化を図る事業を実施した。</p> <p>【対面型相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁護士・司法書士による法律相談 ・相談窓口担当者会議 <p>【電話相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人あおもりのちの電話による電話相談事業の支援 <p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域特性を踏まえた自殺対策力」強化事業 ・市町村自殺対策担当課長のための自殺対策塾 ・ゲートキーパー育成研修事業 <p>【普及啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界自殺予防デーフォーラム <p>【強化モデル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による自殺防止朗読劇公演事業 ・自殺防止対策取り組み検証事業 ・うつ病以外の精神疾患等対策事業 ・自殺対策ネットワーク構築事業 ・自殺対策に係わる民間ネットワーク構築事業 ・自殺未遂者支援対応力向上事業 ・心の健康関連研修事業 <p>【市町村事業費補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・38市町村に補助 | 80,598 | 72,205 | 障害福祉課 |
| 定期健康診断等の実施 | <p>児童生徒等及び教職員の健康診断は、児童生徒等及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的に学校保健安全法等の規定に基づき、毎年実施している。また、健康診断の結果に基づき、疾病の予防措置や治療の指示、学校生活管理指導等適切な措置に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒等の健康診断 実施時期：4月～6月 ・教職員の健康診断 実施時期：4月～8月 | 83,675 | 82,438 | スポーツ健康課 |
| 薬物乱用防止に関する教職員研修の実施 | <p>学校教育における薬物乱用防止教育の一層の充実を図るため、学校の教員等を対象に薬物乱用防止教育研修会を実施し、指導者の資質の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教育研修会(1回) 期日：11月7日(水) 会場：青森県総合学校教育センター(青森市) 参加者数：399人【女性参加者数178人(44.6%)、男性参加者数221人(55.4%)】 | (示達) | (示達) | スポーツ健康課 |
| 性に関する指導 | <p>県内6地区に学校医として産婦人科医を配置し、生徒・教職員及び保護者等に対し各校の実態にあわせて性に関する指導等の推進を図っている。また、生徒に対して、人間の性に関する基礎知識を教育し、適切な意志決定や行動選択ができるように学校医による性に関する講演会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性に関する講演会 実施時期：5月～12月 会場：各県立高等学校(のべ71校) 講演内容：「思春期のこころとからだ」など | — | 838 (9月補正) | スポーツ健康課 |
| 性に関するセミナーの実施 | <p>児童生徒に対し、性(命をはぐくむ)教育の指導の中心的立場にある教員等を対象とした研修会を開催し、指導者の資質の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性に関するセミナー(1回) 期日：8月23日(木) 会場：青森県総合社会教育センター(青森市) 参加者数：51人【女性参加者数42人(82.4%)、男性参加者数9人(17.6%)】 | 320 | 320 | スポーツ健康課 |